



新年おめでとうございます

皆さまにとって本年が良い年となるよう祈念申し上げます。



症状が出る前の内服が効果的

花粉の季節到来！



熊本では毎年2月上旬からスギ花粉の飛散が始まり3月上旬に最盛期を迎え、その後ヒノキ花粉が4月中旬まで続きます。

花粉の飛散量は前年夏の気象条件が影響します。気温が高く日照時間が多く雨の少ない夏は、花芽が多く形成され翌春の飛散量が増える傾向にあります。今春の熊本地方は記録的な飛散量となった昨年に比べ減少する予報ですが、昨年の猛暑の影響が懸念されます。

*2026年の九州地方花粉飛散傾向 (12/2付、日本気象協会)

例年比	前シーズン比	前年夏の気象(6~8月)		
		気温	日照時間	降水量
並み(100%)	やや少ない(60%)	かなり高温	かなり多い	平年並

毎年花粉症の症状が出る方には「初期療法」が有効です。飛散開始前の1月下旬から内服を開始することで、症状がかなり軽減されることが分かっています。



症状が出る前からの予防内服をぜひお試しください。また花粉の飛散が落ちていたら、舌下免疫療法を始めましょう。毎年スギの花粉症にお悩みの方はお気軽にご相談ください。

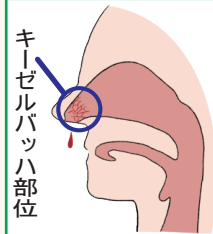


急な出血でも慌てずに

鼻血の対処法

今の時期の空気は冷たく乾燥しているため、鼻粘膜が傷つきやすく鼻血が多くなります。室内外の急な温度変化によって自律神経が乱れ、血管が脆くなりやすいことも原因です。

鼻中隔のキーゼルバッハ部位は毛細血管が豊富で、この部位からの出血が鼻血の8割を占めます。「20分たっても止まらない」、「1週間に3回ほど鼻血が出る」などの場合は早めに受診しましょう。血液をさらさらにする薬を飲んでいる人は血が止まりにくいので注意が必要です。



応急処置のポイント

大量に鼻血が出るとびっくりしますが、まずは落ち着くことが大切。下を向き小鼻(左右のふくらんだ部分)の軟らかいところを指でしっかり押さえて5~10分ほど安静にします。ほとんどの鼻血はこれで止まります。上を向くとどの方向に血が流れて止まりにくくなるので注意が必要です。



日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会公式チャンネル『鼻血の止め方』



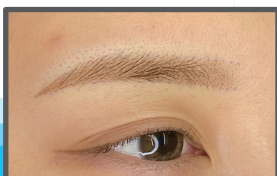
医療アートメイク&アマラピンクのご案内

— 医療アートメイク —

専用の使い捨て針を使い皮膚の浅い部分に色素を定着させる施術。皮膚深くに注入するタトゥーと違い徐々に薄くなりますが、汗や水でも落ちないため、メイクの時短やすっぱいでもメイクをしているような状態を保つことができます。

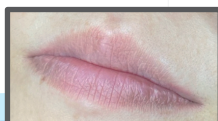


▲Before after▶

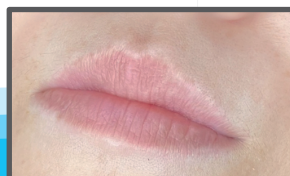


— アマラピンク —

肌に蓄積したメラニン色素(黒ずみ)を天然植物由来の薬剤で排出し、肌本来の色に戻す施術。台湾で開発され、日本では医療機関内で認定看護師のみが施術でき、熊本ではましきクリニックのみ施術を受けることができます。



▲Before after▶



施術例はInstagramに掲載しております。お問い合わせ・ご予約はLINEからお願いします。

アートメイク
看護師
浅井 桂子



LINE



Instagram